



第20回上田八木・金融政策サーベイ(2018年6月)

発表日：2018年6月13日（水）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2018年6月8～12日
調査先	193先
回答率	91.7%

（Q1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（6月14日～6月15日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回4月25日)	変化幅
緩和	0 (構成比%)	1	▲1
不変	100	99	+1
引締	0	0	0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	0	▲1	+1

（Q2）3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回4月25日)	変化幅
低下	1	2	▲1
不変	92	87	+5
上昇	7	11	▲4
短期金利予想DI	+6	+9	▲3

（Q3）3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回4月25日)	変化幅
低下	1	2	▲1
不変	94	88	+6
上昇	5	10	▲5
2年国債金利予想DI	+4	+8	▲4

（Q4）3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回4月25日)	変化幅
低下	1	3	▲2
不変	90	81	+9
上昇	9	16	▲7
10年国債金利予想DI	+8	+13	▲5

質問（Q5）現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

（ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません）

	(今回)	(前回4月25日)	変化幅
1. 1年未満	4%	3%	+1%
2. 1年以上3年未満	61%	76%	▲15%
3. 3年以上	35%	21%	+14%